



てんかんセンター巡り 第34回

藤元メディカルシステムてんかんセンター

施設概要

住 所 〒885-0055 宮崎県都城市早鈴町 17-1
電 話 0986-22-1717 (一般)、0986-22-3000 (診療予約センター)

日本てんかん学会専門医 3名 (脳神経外科2名、神経精神科1名)

スタッフ 日本臨床神経生理学会認定技師 (脳波部門) 1名、脳磁図技師3名 (内1名・工学博士)、専任神経心理士1名、ソーシャルワーカー6名、地域連携室看護師1名

病 床 数 藤元総合病院343床、藤元病院 414床

診 察 科 藤元総合病院 <http://fgh.fujimoto.com/>
藤元病院 <http://www.fujimoto.or.jp/fujimoto/>

脳波検査 外来：ビデオ脳波装置2台
病棟：長時間ビデオ脳波モニタリングユニット2台

特徴

藤元メディカルシステムてんかんセンターのある都城市は宮崎県と鹿児島県の県境にあり、県境を越えた周辺自治体を含む約26万人を背景人口として有病率から計算された推定患者数の40～60%の方が当センター外来に通院され、一次から外科治療を含む三次までをカバーする地元密着型という他にない特徴があります。てんかんは高齢者疾患でも

あることから、通院患者は60歳台が最も多くなっています。

取り組み

(1) 外来

まず意識消失発作がてんかん発作であるかどうかという最も基本的な診断を多く求められます。てんかんのある患者さんは、脳神経外科・精神科・肝臓内科・腎臓内科・循環器内科・神経内科的合併症があることが少なくなく、



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会

院内で緊密に連携をとっています。当センターは外来院内処方を基本とし、薬剤師と医師の意思疎通が容易です。旧来の抗てんかん薬は血中濃度測定が特に必要ですが、院内血中測定装置により来院当日の結果報告が可能です。救急指定病院でもあるので、通院中や新患の救急・予約外対応も行っています。

(2)入院

長時間ビデオ脳波モニタリング(LVEEG)装置を個室固定1台と移動式1台を備えています。移動式は、ICU病棟などでの緊急の測定も対応可能です。てんかん発作かどうか、発作型、てんかん外科診断などに利用しています。固定装置は、プライバシー保護のため個室にあり、家族の付き添いが可能です。SPECT室に移動式装置とベッドを準備することにより、発作時SPECT検査を放射線管理区域内で行うことができ、県外てんかんセンターからてんかん外科術前検査入院(step1)や本目的のみでの検査入院を依頼されることもあります。

(3)てんかん外科

ご希望の患者さんに対して、てんかん外科術前検査入院(step1)、頭蓋内脳波記録(step2)、切除術など、根治手術・脳梁離断術のうりょうりだんや迷走神経刺激装置留置術などの緩和手術(step3)が対応可能です。鹿児島大学病院

てんかんセンターと術前カンファレンスを必ず行い、人員派遣を依頼し共同で外科治療を行っています。

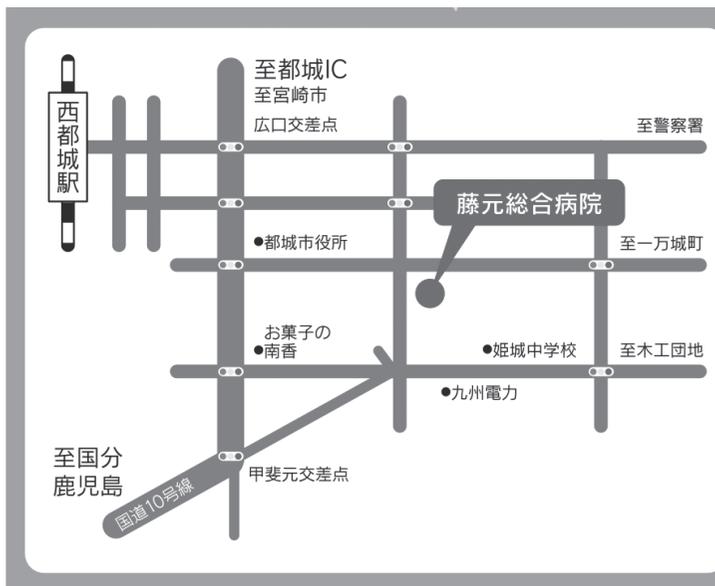
(4)脳機能診断

LVEEG装置、MRI(3T 1台, 1.5T 2台)、PET(FDG, メチオニンなど)、SPECT(各種核種、発作時対応可)、脳磁図、Wadaテスト、頭蓋内脳波記録、各種神経心理検査、院内抗てんかん薬血中濃度測定など。

患者さんへのメッセージ

当センターはてんかんの初期治療から高度医療まで、あらゆるステージでの治療を行っています。また、医療相談室も人員・経験共に豊富で各種医療制度のご説明や院外社会資源との連携も行っています。鹿児島大学病院てんかんセンターでの月1回それぞれに開催される脳波勉強会と、てんかんカンファレンスに当院パラメディカルとともに参加して研鑽を積んでいます。また、年に数回、周辺医療施設を対象とした講演会も行い、地域とともにてんかん診療のレベル向上を図っています。

(脳神経外科 大坪俊昭)



■主要地域から 当センター迄の時間

- 宮崎空港より……約40分
- 鹿児島空港より…約50分
- 鹿児島市より……約80分
- 人吉市より……約60分
- 延岡市より……約2時間
- 宮崎市より……約40分
- 日南市より……約60分
- 鹿屋市より……約60分
- 霧島市より……約40分